

研究実施のお知らせ

2025 年 9 月 3 日 ver.1.0

研究課題名

副腎偶発腫の機能性鑑別における血清 K・Ca 積の診断精度の検討

研究の対象となる方

2009 年 4 月から 2025 年 3 月に島根大学医学部附属病院で副腎腫瘍の精査を行った方

診断時の年齢が 18 歳以上の方

研究の目的・意義

副腎腫瘍は、健康診断や他の疾患の検査中に偶然発見される機会が増えています。その中には原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫などのホルモンを過剰に産生する機能性腫瘍が含まれます。これらの機能性腫瘍は早期の診断と適切な治療が重要です。

こうした機能性かどうかを詳しく調べるには、専門的な検査や知識が必要で、すべての病院やクリニックで簡単にできるわけではありません。一方、血液検査で日常的に測定される カリウム (K) やカルシウム (Ca) などの電解質は、どこの施設でも簡単に検査することができます。これまでに、機能性腫瘍ではカリウムが低くなったり、カルシウムが少し下がったりすることが知られていますが、単独の数値だけで診断するのは難しいのが現状です。

そこで私たちは、これらの数値を組み合わせて分析することで、機能性かどうかをより簡単に予測できるかを調べたいと考えています。特にカリウム×カルシウムの積の組み合わせが有用かどうかを検証します。この研究により、負担の少ない血液検査だけで、機能性副腎腫瘍のタイプを見分ける手助けを得ることができる可能性があります。

研究の方法

電子カルテから患者さんの背景（年齢、性別、既往歴・併存疾患、パフォーマンスステータス、身長・体重、手術歴、家族歴、生活歴、服薬歴など）、副腎腫瘍の診断（画像診断、腫瘍径、内分泌学的診断、症状、手術・病理結果など）、血液生化学検査・尿検査のデータ（血算・血液像、血清アルブミン、クレアチニン、ナトリウム・カリウム・カルシウム・リン・マグネシウムなどの電解質、副腎ホルモン、甲状腺・副甲状腺ホルモンなど）の情報を収集します。これらの情報を収集し、血清電解質と

機能性腫瘍の診断との関連性を検証します。

研究にあたっては、対象となる方の個人情報をお容れに同定できないように、数字や記号などに置き換え、「氏名、カルテ ID、住所・連絡先を削除した情報（どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として統計学的手法により解析します。

研究の期間

2025 年 10 月 28 日～2027 年 3 月末

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部泌尿器科学講座 小川 貢平

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 9 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部泌尿器科学講座／附属病院泌尿器科 小川 貢平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2256 FAX 0853-20-2250